

ポニー
コーション
ジョイ
フレ

鋼材用大型プレス導入

「日本初の工法 環境機器部品量産へ」

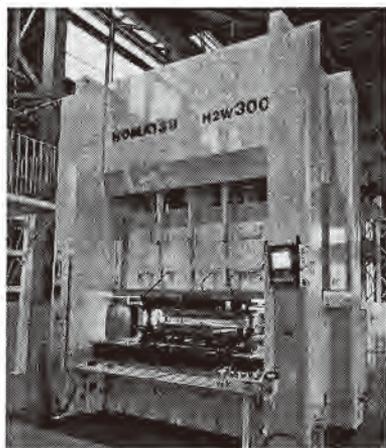
制を整えつつある。

フジイコーポレーション（本社・新潟県燕市、社長・藤井大介氏）はこのほど、鋼材事業（燕市物流センター）に4台目となる大型プレス機（コマツ産機製、300ト）を導入した。

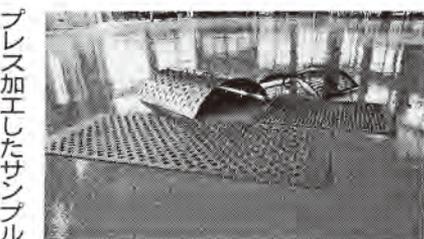
採択された事業計画名は「日本初の革新的プレス工法で、環境機器の効率を向上し、世界へ事業展開」。

国のものづくり補助金を活用し、環境機器部品などの量産化の体制を整えつつある。

同社は高張力鋼板を使用する農業機械部品を対象に、複雑な構造を小部分に分割し全体を予測する「FEM解



新設した300トプレス



プレス加工したサンプル

析技術」を活用したプレス成形技術を高めている。ジェットロの支援を受け、高付加価値なプレス部品の海外展開にも取り組んだ。昨年

9月下旬には、米国・ニューオリンズで開催された環境・エネルギー関連の展示会「WE

調査を行った。今回導入した大型プレス機（サーボプレス）の特徴はフリーモーションにより最適なプレス加工条件を見つけ出す点。プレス機のスライドスピード、位置を自在に変化させ、金型内部に材料を自動で搬送する機構を開発し、

組み込んだ。それにより高精度で高い品質を可能にした。研究成果を実用化した高付加価値部品を5月28日に需要家へ納品した。

これまでプレスする板材は人力で送給していたが、自動送りの機構で作業者の負担軽減を図ることもできる。

一貫して作業環境の効率化を推進している。工場内はフォーク

リフトレスを推進し、省エネ、スペースの有効活用を実現。プレスリタイバシティ経営作業者の負担を軽減することを支えている。